



いこま暮らしの研究室
イベント

参加者
募集!



対話から始めるまちの実験

生駒の「なぜ?」を、みんなで話して、やってみる。

プログラムをひと足先に体験しませんか?



哲学対話の実践者による

ゲスト
トーク



河野 哲也さん
(立教大学 文学部教育学科 教授)

初めてでも大丈夫!

哲学
対話

本編の紹介

いこま
暮らしの
研究室
について

2026

10.17 Sat

14:00-17:00

「生駒の暮らしがもっとよくなったらいいのにな」

「地域のために、何をすればいいだろう」

「活動をもっと広げたい」

そんな想いをお持ちの方大歓迎!

開催場所

生駒市テレワーク&インキュベーションセンター
イコマド元町
コミュニティセンター 1F(生駒市元町1丁目6-12)
アクセス:生駒駅南側へ徒歩3分

定員 40名

対象 生駒市内外問わず、生駒に関わってみたい方、
暮らしについて考えてみたい方





「いこま暮らしの研究室」本編の一部を体験します!

特別ゲスト・河野哲也さんと一緒に、生駒の未来やこれからの暮らしについて対話し、実践への入り口を覗いてみましょう。プレイベントだけのご参加も大歓迎です!

01 ゲストトーク



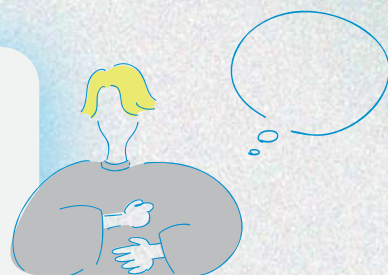
「なぜ?」を聴き合う場のちから

河野 哲也さん

立教大学 文学部教育学科 教授

NPO法人「こども哲学 おとな哲学アーダコーダ」副代表理事

哲学対話の実践者・河野さんに、「なぜ今、まちや暮らしに対話が必要なのか」を、学校や地域での実践経験を交えてお話しいただきます。



02 哲学対話

ゲストトークをヒントに、参加者同士で哲学対話をやってみましょう!身近な暮らしの中にある「問い」について、ゆっくり考えます。一人ひとりの経験や気づきを持ち寄ることで、新しい視点や考え方に会えたり、次に考えてみたい問いが出てくるかも。

哲学対話のやくそく

- 知識ではなく、自分の体験をもとに話す
- わからなくても、まとまらなくてもいい
- 相手の話をよく聴く
- 話さなくてもいい、聴くだけでもいい



03 いこま暮らしの研究室の紹介

生駒での対話と実践の場

月一回程度、今回新たに参加される市民のみなさまをはじめ、いこまSDGsアクションネットワーク会員企業・団体など様々な人が集まり、生駒の暮らしや地域課題にまつわるテーマについて、問いをきっかけに対話し、実践を重ねていきます。

みんながそれぞれの「暮らしの専門家」。
あなたらしい地域との関わり方を、
仲間と見つけてみませんか。

【開催概要】

日程: 2026年11月~2027年2月の間に全5回開催

場所: 生駒駅周辺

定員: 15名程度

対象: 生駒市内外問わず、生駒に関わってみたい方、暮らしについて考えてみたい方



いこまSDGs

アクションネットワークとは

生駒市が2022年に設立した、SDGsの達成に向けて活動する企業・団体・教育機関等のネットワーク。現在130団体以上の会員が参画し、マッチング会や勉強会等の活動を行っています。

プレイベントの
お申込はこちら

